資料2

令和 9 年度 恵庭市総合防災訓練 企画書(案)

1. 訓練の目的

災害時における市の応急対策体制の強化、関係機関および市民の連携による地域防災力の向上を図る。また、AI や IoT、ICT などの最先端のデジタル技術を活用し、災害対策の高度化・効率化を検証する。

2. 訓練実施概要

日時:令和 9 年 10 月 16 日(土) 8:00～15:00 予定
会場:恵庭市役所、花の拠点「はなふる」、福祉避難所「恵み野憩の家」
対象:防災会議構成機関、市内自主防災組織、市内事業者、市民

3. 想定災害

豪雨災害(レベル 4 大雨危険警報～レベル 5 大雨特別警報を想定)

7:30 レベル3大雨警報発令
8:00 気象台よりレベル4大雨危険警報発令見込の連絡受け
9:30 レベル4大雨危険警報発令(レベル 5 大雨特別警報への移行の可能性あり)
11:00 レベル5大雨特別警報発令(浸水被害発生)

4. 訓練の構成と内容

訓練は、レベル3大雨警報発令による災害警戒本部(基地・防災課)設置後、気象台からレベル4大雨危険警報を発令見込との連絡を受けた時をスタートとし、全庁での初動段階からレベル5大雨特別警報へ拡大した際の災害対応までをシミュレーションする。

災害対策本部の設置・運営、避難所開設・運営及び個別避難計画の実動、市民参加型の体験・展示までを網羅した以下の3部構成とする。

(1)第 1 部 災害対策本部設置・実動訓練(8:00～12:00 恵庭市役所内)

災害発生を想定した非常招集から災害対策本部の設置、避難所開設、避難指示(個別避難計画の実動)、資源配置(物資輸送)、情報のトリアージ、クロノロジー(時系列記録)の作成、統合型 GIS を用いた情報の可視化など、本部指揮室の設置・運用訓練や関係機関とのリアルタイム情報共有の検証。

【ポイント】

① 非常招集時(8:00 気象台からのレベル 4 発令見込受電後を想定)、自宅から市役所までのリアルな参集時間の把握と、それに伴う本部員や対策班長不在時のシミュレーションの実施。
② レベル4危険警報発令見込の情報取得後、実際に警報が発令される 1 時間 30 分後までに職員の参集から災害対策本部の設置、避難所開設、避難指示等を経て対象住民の避難が完了できるかを検証。
③ 災害対策本部マニュアル、各対策班マニュアルに沿った災害発生時のフロー確認とマニュアルの実効性の検証。
　〇総務対策部本部班:レベル4大雨危険警報発令後、次々と寄せられる問合せや被害報告などを本部班電話交換 G 及び総務 G が受電及び記録、情報 G が情報トリアージを行い、情報の緊急度・重要度が整理された状態で災害対策本部へ伝達ができるか検証。また、記録 G が災害対策本部に入る情報のクロノロジーの作成を実施。
　〇他対策部:豪雨災害発生時の各対策部の活動について検証。また、一部職員には市民役として、シナリオに基づき、市役所代表電話へ問合せや被害報告などを行ってもらう。
④ デジタルツール(ロゴチャット、GIS 等)を用いた情報伝達の「速度」と「正確性」の検証。

(2)第２部　避難所開設・運営・個別避難計画実動訓練(8:00～12:00恵み野憩の家)

避難所の開設・運営シミュレーションと避難行動訓練。避難所では、避難所運営マニュアルに沿った避難所開設から避難者受入、避難状況の共有などを実施。地域では、個別避難計画に基づいた避難行動要支援者の避難支援を実施。災害救援マップなどのツールを活用した避難所運営のデジタル化について検証。

【ポイント】

① 避難所開設から避難者の把握、本部への情報共有におけるデジタルツールの活用による省力化、効率化の検証。
② デジタルツール活用による避難者への避難所開設状況等の情報発信手法の検証。
③ 避難所開設における各対策班マニュアル、避難所運営マニュアルのフロー確認とマニュアルの実効性の検証。
④ 個別避難計画を活用した避難所への要支援者避難

(3)第３部　災害対応展示・体験(10:00～15:00花の拠点はなふる)

消防、警察、自衛隊や協定先企業の展示により、市民が防災用品の活用法を学び、公助の活動を理解する機会の創出。

【ポイント】

①防災協定締結先企業および各機関が、災害時の行動を平素から具体的にイメージできるよう、訓練を通じた「顔の見える関係」の構築を推進する。
②スタンプラリーの実施やノベルティ配布などにより、市民参加率の向上を図る。
③防災に係る体験コーナーやワークショップ、防災ライフハック等の体験型ブースを多く設け、楽しみながら防災・減災を学ぶ機会を提供し、「訓練を見る」イベントから「体験する」イベントへシフトし、防災意識の向上を図る。

参考：第３部　体験ブースイメージ（例）「体感する、使ってみる」

・煙体験



・初期消火体験



・AED 体験



・地震体験車（起震車）



・災害体験 VR



・浸水体験 AR



・GENSAI 迷路



・ドローン体験



・ロープワーク体験（トライポッド）



・火起こし体験（ファイヤースターター）



・携帯用浄水器の体験



・防災ライフハックコーナー



・キャンプ用品展示



・防災食の試食



・防災グッズの展示



・車両展示（車内見学）









